



安城文化

発行:安城文化協会 ☎446-0041安城市桜町17番11号(へきしんギャラクシープラザ内) ☎・FAX 0566(74)6066
✉ info@anjo-bunka.org 🌐 https://anjo-bunka.org

「乙巳きのとみの新年を迎えて」

安城文化協会
会長 石川 清幸



干支の白蛇
白蛇は「神の使い・弁財天の化身」として信仰され、「蛇の皮を財布に入れておくと金運がアップする」と言われる。

寒中お見舞い申し上げます

今年の干支は巳年(みとし)で、我家は孫4人を含み延べ10名中、3名が巳年生まれで最大勢力です。嫌われがちなイメージの蛇のことを知らずして避けて通れませんか。(私はねずみ年)

少年時代の蛇を思い浮かべると、まず、家の周りに顔を出すアオダイショウはゆったりと庭先を移動し、見るとお腹のあたりが大きく膨らみネズミでも飲み込んだようです。また、近くの湿地で、キユウー・キユウーと鳴くものを探すと、カエルを頭から飲み込んだ蛇の姿は、少年の目と耳に焼き付いて離れません。次に、畦道に丸く渦巻になったオレンジ模様の蛇(ヤマカガシ)がいくつも点々と並んで、僕たちは木刀をもってしても前に進めません。圧巻は、草むらで蛇に遭遇すると、先ず特徴である頭のカタチを確認します。三角形であれば間違はなく毒のあるマムシです。ある時、爺さんが川の土手の草刈り後、僕たちにその場所

で遊ぶかと警鐘を鳴らしてきました。

いたずらっ子は、小さい蛇のしっぽをつかみ、くるくる回したり、蛇の首根っこを素

手でギョツと掴んで見せたりしていたことを思い浮かべます。そんな嫌われ者の蛇ですが、何故かむやみにいじめなかつたことを覚えています。

干支の話に戻り、巳(みへび)は、「執念深い・怖い」などのイメージがありますが、脱皮を繰り返すことや暫く食へなくても生存することなどから「強い生命力・豊穡」の象徴と考えられます。また白蛇は「神の使い・弁財天の化身」として信仰され、「蛇の皮を財布に入れておくと金運がアップする」と言われるほど縁起の良い生き物です。

「巳」は、本来子宮が胎児を包んでいる状態を示した漢字で、「植物の種子が誕生する」などの意味があり、巳年は「新しい時代が始まる起点となる年」と考えられています。頭がよく好奇心も強く、獲物を獲得するまでじっと待ち続けるように地道に頑張り、確実に結果を手にする強さを持っています。

年初、巳年に元気をもらい、安城文化協会も大いに参考にし、新しい時代が始まる起点とし、努力を重ね、物事を安定させていくことを決意いたします。

ギ

ャ

ラ

リ

ー

日展等で入選、上位入賞された本協会員の作品です。

日展名古屋展は、1月22日から2月9日まで愛知県美術館ギャラリーで開かれます。



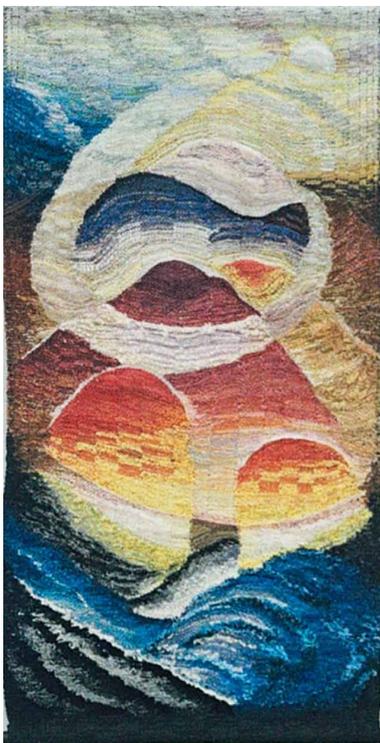
日展 神谷 恒行
日本画「BAKUSUI (爆睡/瀑水)」



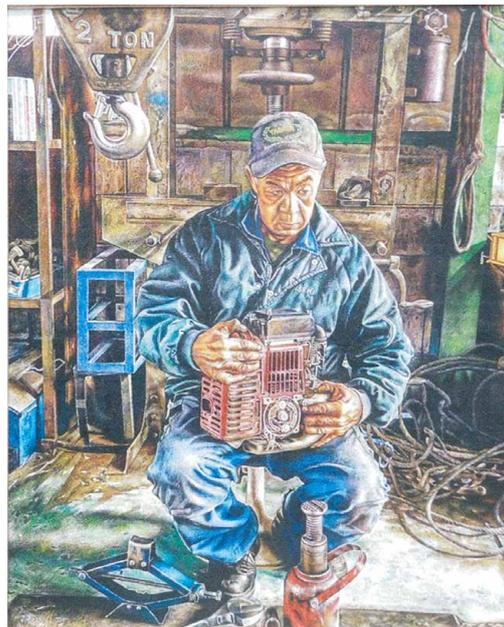
日展 平松 弘子
工芸美術「雷雲迫る」



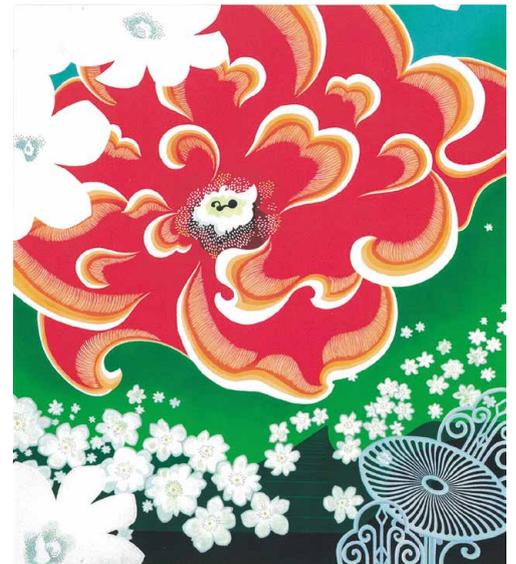
毎日書道展 神谷光園 書「雲龍風虎」



日展 大参 富士子
工芸美術「光響 (きずな)」



白日会創立百周年記念展 野々山 耕
洋画「修理工場にて」



日展 加藤 伴子
工芸美術「花達の Rond」